

袖ヶ浦校

令和6年度事業報告

専門学校 日本自動車大学校袖ヶ浦校の運営並びにその活動

令和7年5月17日

目 次

(1) 授業の実施	2
(2) 教育内容、設備の充実	6
(3) 業界の技術教育への協力及び教職員の資質向上	8
(4) 学校環境の整備、充実	9
(5) 地域への活動	10
(6) 求人・就職状況	11
(7) 就職・進路指導の実施	12
(8) 学生募集活動、広報活動の実施	13

(1) 授業の実施

1) 教育計画に基づいて次の授業を実施した。

2級自動車整備科 1・2年次

区 分	科 目	時間数			
		1 学年		2 学年	
学 科	普通学科	2 0	4 9 4	3 4	3 1 6
	自動車工学・整備	4 1 6		2 4 8	
	機器の構造取扱	2 0		2 0	
	関係法規	1 2		1 4	
	自動車検査	2 6		—	
実 習	工作実習	3 6	7 4 4	—	7 7 6
	測定実習	5 2		—	
	自動車整備作業	6 5 6		7 1 2	
	自動車検査	—		6 4	
課 外	課外授業	1 3 4		2 2 4	
合 計		1 3 7 2		1 3 1 6	

自動車車体整備科

区 分	科 目	時間数	
学 科	普通学科	3 4	3 5 6
	車わく及び車体の構造	7 0	
	車わく及び車体の整備	2 5 2	
実 習	車わく車体の加工作業	8 3 2	8 3 2
課 外	課外授業	2 2 4	
合 計		1 4 1 2	

2) 各種資格取得の為、次の試験を受験した。

資格の種類	試験日	学年	備考
アーク溶接業務特別教育	4月24日	1学年	厚生労働省 特別教育
ガス溶接技能講習	5月10日	1学年	厚生労働省 技能講習
電気自動車の整備等に係る特別教育	6月28日	2学年	厚生労働省 特別教育
有機溶剤作業主任者資格	7月17日	車体科	労働安全衛生法資格
損害保険募集人資格	7月29日	2学年	日本損害保険協会
ソーシャル検定中級	9月14日	2学年	全国自動車大学校・整備専門学校協会 検定試験
二級自動車整備士	3月23日	2学年	日本自動車整備振興会 連合会
自動車車体整備士		車体科	

3) 課外授業として次の行事を実施した。

学 年	実 施 日	行 事	備 考
1 学年	4 月 8 日	入学式	
2 学年、車体科	4 月 9 日	始業式	
全科	4 月 1 9 日	防災避難訓練	
全科	4 月 2 4 日	交通安全祈願祭	
1 学年	4 月 2 4 日	年金セミナー	
車体科	4 月 2 4 日	株式会社ビッグワゴート 見学	
1 学年	4 月 2 5 日	救命講習 (WEB講習)	
車体科	4 月 2 5 日	いづみ自動車株式会社 見学	
全科	4 月 2 6 日	新入生歓迎会	
車体科	5 月 1 5 日	千葉トヨペット株式会社 BPセンター 見学	
全科	5 月 1 7 日	献血 (春) (51 人・20, 000ml)	
2 学年、車体科	5 月 2 4 日	球技大会 (ボーリング)	
全科	5 月 2 9 日	健康診断	
1 学年	6 月 4 日	球技大会 (ボーリング)	
車体科	6 月 1 3 日	株式会社自研センター 見学	
車体科	6 月 2 8 日	製作案発表会	成田校
全科	7 月 3 1 日	文月式	
全科	9 月 1 日	長月式 震災避難訓練	
2 学年	9 月 9 日	ドライビングトレーニング	成田校
2 学年	9 月 2 0 日	袖ヶ浦検査登録事務所、軽検査協会袖ヶ浦、 商工組合袖ヶ浦支所	
車体科	9 月 2 7 日	水性塗料講習	
1 学年	1 0 月 9 日	労働関係法令基礎講習	
1 学年	1 0 月 9 日	NATS 上級 3 科セミナー	
全科	1 0 月 1 8 日	ジャパンモビリティショー 見学	
2 学年	1 0 月 2 2 日	軽ダートカップ 試走会	成田校
1 学年	1 0 月 2 3 日	軽ダートカップ 試走会	成田校
1、2 学年	1 0 月 3 1 日	NATS 軽ダートカップ 本戦	成田校
全科	1 1 月 6 日	献血 (秋) (46 人・18, 200ml)	
2 学年、車体科	1 1 月 2 1 日	租税セミナー	
全科	1 1 月 2 2 日	NATS 体育祭	
1 学年	1 1 月 2 5 日	ドライビングトレーニング	成田校

1 学年	1 2 月 1 日	上級課程進級体験	成田校
全科	1 2 月 2 0 日	年末式	
全科	1 月 8 日	年頭式	
車体科	1 月 10・11・12 日	東京オートサロン 2 0 2 5 出展	
2 学年	1 月 1 0 日	全国統一模擬試験	
1、2 学年	1 月 1 1 日	東京オートサロン 2 0 2 5 見学	
車体科	1 月 1 4 日	全国統一模擬試験	
車体科	2 月 2 2 ・ 2 3 日	ノスタルジック 2 デイズ 出展	
2 学年、車体科	2 ・ 3 月	特別講習（登録試験対策）	
2 学年	3 月 4 日	卒業認定試験	
車体科	3 月 5 日	卒業認定試験	
車体科	3 月 6 日	テストラン・キャラバン	
2 学年、車体科	3 月 1 2 日	卒業式	
1 学年	3 月 1 9 日	進級認定試験	

	整・1年	整・2年	車体
前期終業式	9 / 1 7	1 0 / 1 5	1 0 / 8
後期始業式	9 / 2 5	1 0 / 2 4	1 0 / 1 5
後期終業式	3 / 2 1		

(2) 教育内容、設備の充実

1) 共通

- ①全学生に対し、安全運転の啓蒙及び車両通学者に対する車両チェックを実施し、交通安全と不正改造防止への意識向上を図った。(4月)
- ②国土交通省千葉運輸支局による「不正改造車排除」に関するセミナーを実施し、意識啓蒙を図った。(6月)
- ③「高等教育の修学支援新制度」(授業料等減免・給付型奨学金)に対する機関要件の確認申請を行い、修学支援の対象機関に認定された。(8月)
- ④ダイハツ千葉販売株式会社より1年次エンジン測定実習の教材として、エンジン5基及び整備マニュアルを寄贈いただいた。(11月)
- ⑤千葉県ホンダ会より教材車として、N-One 2台(中古車)を寄贈いただき活用した。
- ⑥株式会社スズキ自販京葉より軽ダートベース車両として、アルト1台を寄贈いただいた。
(12月)
- ⑦「自動車整備士養成施設の指定等の基準について」等の改正に伴い「自動車整備士の種類並びに教育科目・時間数等の教育内容」の変更を実施し、二級自動車整備士(総合)一種養成課程への対応を図った。(3月)

2) 2級自動車整備科

- ① 学生数の増加に伴い、ツールキャビネットおよび工具セットを2セット購入し、教育環境を充実した。(4月)
- ② 劣化したガス溶接ホースを一新することにより、安全性の向上を図った。(4月)
- ③ トヨタアクア(ハイブリッド車)6台を成田校より袖ヶ浦校に移管することで、実習車両および実習作業の充実を図った。(6月)
- ④ 1年生に対し、各メーカーの最新技術を習得するためメーカーおよびディーラー主催による、技術セミナーを実施した。
 - ・日産(株式会社日産自動車、株式会社CNホールディングス、株式会社日産サテライト千葉) (6月)
 - ・トヨタ(トヨタカーズ千葉株式会社) (6月)
 - ・スズキ(株式会社スズキ自販京葉、株式会社スズキ自販千葉、千葉スズキ販売株式会社) (7月)
 - ・スバル(千葉スバル株式会社) (7月)
 - ・マツダ、メルセデス、フォルクスワーゲン(株式会社CMGホールディングス) (11月)
 - ・メルセデス(株式会社ヤナセ東京千葉営業本部) (11月)
 - ・ホンダ(千葉県ホンダカーズ) (12月)
 - ・日野(南関東日野自動車株式会社) (1月)
- ⑤ 2年生検査実習における継続検査実施のため、千葉運輸支局袖ヶ浦検査登録事務所、軽自動車検査協会袖ヶ浦支所および千葉県自動車整備商工組合袖ヶ浦支所を見学し、現場での車検実務を学んだ。(9月)
- ⑥ 教材車両であるスズキアドレス(50CCスクーター)を1台購入することにより、実習作業効率の向上を図った。(9月)

- ⑦ 1・2年生共に、NATS軽ダートカップに向け車両製作・練習走行会を行い、技術の習得および学生間と教員とのコミュニケーションを図り、本戦に参戦した。(10月)
- ⑧ NATSドライビングトレーニングを実施し、安全運転に必要な技術や知識の向上を図り、また、現場で必要となる作業方法を習得した。
- ⑨ 検査実習において、一般車両の車検整備を実施、必要書類を作成し、実際に車両検査を受験し合格させることにより、整備の重要性を理解し検査実務を習得した。

3) 自動車車体整備科

- ① 钣金塗装実務にかかわる現場の作業環境や設備、および完成度の向上に徹した作業を見学することにより、精度に対する意識の向上を図った。
 - ・株式会社ビッグワゴン (4月) ・いづみ自動車株式会社 (4月)
 - ・千葉トヨペット株式会社BPセンター (5月) ・株式会社自研センター (6月)
- ② アクサルタ・コーティングシステムズ合同会社、株式会社ユーポン、ユーキ塗料株式会社より外部講師を招いて水性塗料講習及び塗装実習を行い環境負荷の少ない塗装技術の習得を図った。(9月)
- ③ 一年間の集大成として、「1969(昭和44)年式スバル360」をレストア、また車検を取得し、2025東京オートサロンに出展した。現場では、来場者の方への車両説明を通じ、接客対応力の向上を図った。(1月)
- ④ スバル360の完成度を向上しつつ、完成検査のため公道でのテストラン・キャラバンを実施した。(3月)
- ⑤ 2026年度にレストアをするベース車両、いすゞ117クーペを購入した。

(3) 業界の技術教育への協力及び教職員の資質向上

- ① 厚生労働省中央職業能力開発協会が開催する「若年者ものづくり競技大会」(職種：自動車整備)及び「技能五輪国際大会訓練」に機材の提供をした。
- ②株式会社SUBARU及び千葉スバル株式会社主催の「SUBARU航空宇宙部門工場見学会」に教員1名が参加し、知見を広げる機会とした。(7月)
- ③日産自動車株式会社主催の「日産技術講習会」に教員1名が参加し、新型電気自動車に関する技術研修を受講した。(8月)
- ④「トヨタL&F説明会及びカスタマーズセンター東京見学会」に教員1名が参加し、資質向上の機会とした。(8月)
- ⑤いすゞ自動車販売株式会社及びいすゞ自動車首都圏株式会社主催の「いすゞグループメカニズム学習会」に教員1名が参加し技術研修を受講した。(8月)
- ⑥千葉県専修学校各種学校協会が主催する新任教員研修会並びに中堅教職員研修会を教員各1名が受講し、資質向上の機会とした。(8月)
- ⑦千葉県自動車整備振興会が主催する整備主任者技術講習会を整備主任者2名が受講した。
(9月：技術 10月：法令)
- ⑧特定非営利活動法人 職業教育評価機構が主催する「学校評価ガイドラインの改正の検討・中間報告会」(オンライン)を教員1名が受講し専門学校の学校評価についての理解を深めた。
(10月)
- ⑨一般財団法人職業教育・キャリア教育財団主催の「単位制への移行に伴う学修成果の評価のあり方について」及び「専門学校における第三者評価の重要性と展望について」を教員1名が受講した。(12月)
- ⑩千葉県自動車車体整備協同組合主催の「先進技術の整備体験会：電気自動車編及び車体損傷確認責任者フォロー研修」を教員1名が受講した。(3月)
- ⑪千葉県自動車整備振興会が主催する「電子制御装置整備の整備主任者講習会」を教員1名が受講し、二級自動車整備士(総合)養成課程への対応を図った。(3月)
- ⑫千葉県私学教育振興財団主催の令和6年度公開講座・講演会「昨今の異常気象と身近にできる防災対策」を教職員5名が受講した。(3月)

(4) 学校環境の整備、充実

- ①有限会社釜屋自動車より寄贈いただいた「トヨタIQ」を修繕し校用車として活用した。
(4月)
- ②3号館前フェンスの塗装修繕を実施し、施設の環境美化を図った。(4月：教職員)
- ③危険物保管倉庫(油脂庫)の換気装置を、防爆換気扇付き換気装置に交換し、安全対策を実施した。(6月)
- ④学内の樹木の剪定を行い教育環境の美化を図った。(6月、8月、11月)
- ⑤自動車車体整備科塗装ブースのフィルター交換作業を実施し、教育環境の改善を図った。
(7月：教職員)
- ⑥駐輪場の塗装修繕を実施し、施設の環境美化を図った。(8月：教職員)
- ⑦校用車について成田校クラウンと袖ヶ浦校グレイスを入れ替えた。(8月)
- ⑧自動車車体整備科塗料庫に設置されているミキシングマシンの制御部を修繕し、作業効率向上を図った。(10月)
- ⑨2号館の老朽化による屋根の腐食や外壁の傷みを修繕し、教育環境の美化を図った。
(12月)
- ⑩本館1階、3号館1階2階、5号館1階の実習場にエアコンを導入し、実習授業の環境改善を図った。(1月)
- ⑪本館受変電設備(キュービクル)を新品に交換し、電源設備の保守・改善を実施した。
(1月)
- ⑫令和7年度生の学生増加に備え、学生用椅子30脚を追加購入し、教育設備の充実を図った。
(3月)
- ⑬新年度に向け、校舎の床ワックス清掃及びトイレ清掃を実施し校内美化促進を図った。
(3月)
- ⑭2級自動車整備科36期生、自動車車体整備科22期生の卒業記念品としてプロジェクター及びスクリーン(19万円相当)を寄贈いただいた。
(3月)

(5) 地域への活動

①学生と共に毎月2回、袖ヶ浦自動車検査登録事務所周辺の清掃活動を行い環境美化に貢献した。

②下記の中学校からの依頼により、職場体験学習を実施した。

袖ヶ浦市立 根形中学校2年生 3名(8月)

袖ヶ浦市立 昭和中学校2年生 3名(10月)

③学生並びに教職員が「赤い羽募金」に協力し、千葉県共同募金袖ヶ浦支部へ12,229円を寄付した。(10月)

④袖ヶ浦市及び市原市の中学校職場体験授業(2年生 16名参加)に協力し、自動車整備業界の仕事を理解いただく機会とした。(8月、10月、11月)

(袖ヶ浦市立 昭和中学校2名、根形中学校3名)

(市原市立 姉崎東中学校4名、若葉中学校4名、市原中学校3名)

(6) 求人・就職状況 (令和7年3月31日現在)

	2級自動車整備科	自動車車体整備科	合計
求人社数			
2024(令和6年)	238社	51社	289社
2023(令和5年)	226社	20社	246社
2022(令和4年)	166社	16社	182社
在籍者数			
2024(令和6年)	44名	12名	56名
2023(令和5年)	34名	10名	44名
2022(令和4年)	35名	4名	39名
就職希望者			
2024(令和6年)	21名	12名	33名
2023(令和5年)	15名	10名	25名
2022(令和4年)	23名	2名	25名
就職内定者			
2024(令和6年)	21名	12名	33名
2023(令和5年)	15名	10名	25名
2022(令和4年)	23名	2名	25名
自動車車体整備科進級者			
2024(令和6年)	15名		15名
2023(令和5年)	14名		14名
2022(令和4年)	10名		10名
その他(他校進学・他)			
2024(令和6年)	3名	0名	3名
2023(令和5年)	0名	0名	0名
2022(令和4年)	2名	2名	4名
自動車研究科進級者			
2024(令和6年)	5名	0名	5名
カスタマイズ科進級者			
2024(令和6年)	0名	0名	0名
モータースポーツ科進級者			
2024(令和6年)	0名	0名	0名
進路決定者数 (自主決定者含)	44名	12名	56名
進路決定率	100%	100%	100%

※進路決定率＝進路決定者数/在籍者数

(7) 就職・進路指導の実施

①令和7年3月卒業・修了学生に対し個人面談を実施し、進路指導を通じて進級率向上を図った。
また、就職希望者に対して企業斡旋及び就職指導を実施した。

②2級自動車整備科1年生に対し、日本自動車大学校成田校上級3科、袖ヶ浦校自動車車体整備科の説明会及び体験実習を行い、進級率向上対策を実施した。

- ・日本自動車大学校 上級3科説明会 10月 9日
- ・自動車車体整備科 体験進級実習 10月29、30日
- ・日本自動車大学校 上級3科体験進級実習 11月26日
- ・日本自動車大学校 進路説明会 12月 1日

③就職希望者に対して、令和7年1月2月に校内企業説明会を実施した。

(25日間33社、参加学生延べ人数201人)

④学生に対し、企業修学支援制度及び企業奨学金返済支援制度等を紹介し学費や奨学金返済支援の一助とした。

- ・トヨタカローラ千葉株式会社：自動車整備士育成支援金給付（在校生2名）
- ・千葉日産自動車株式会社：奨学金貸与（入学生1名）
- ・日産プリンス千葉販売株式会社：奨学金返済支援制度（在校生1名）

(8) 学生募集活動、広報活動の実施

- 1) 千葉県南部を中心に高等学校及び日本語学校への訪問を実施した。
- 2) 各イベント日程に合わせDM製作・発送を行い、高校生、留学生、高等学校進路指導部、日本語学校への情報提供を行い、オープンキャンパスへの参加促進を図った。
- 3) オープンキャンパスPRポスターを作成し、高等学校進路指導部、日本語学校に掲示を依頼し、オープンキャンパスへの参加促進を図った。
- 4) 高等学校、日本語学校に在校生の近況報告、進路状況報告を行い、信頼関係の向上を図った。
- 5) 高等学校や校外会場で行われる説明会及び模擬授業に参加することで、高校生等に接触し、オープンキャンパスへの参加促進を図った。
- 6) ガイダンス、模擬授業に参加した生徒に対し、実施後のフォローアップを徹底し、オープンキャンパスへの参加者促進を図った。
- 7) オープンキャンパス日程に合わせ、接触者に対しDMの発送を行い、オープンキャンパスの開催情報や送迎バス運行情報等を提供し参加者の増員を図った。
- 8) オープンキャンパス（18回）、学校説明会（3回）、授業見学会（1回）を実施することにより当校の理解を深めてもらい、出願者の増員を図った。
- 9) オープンキャンパス、学校説明会、授業見学会参加生徒へのフォローを徹底し、リピーター増加に努めた。
- 10) ガイダンスやオープンキャンパス参加者及び保護者に対し、日本学生支援機構奨学金やNATS企業奨学金制度の説明を行い、学費に関する不安を払拭していただけるよう努めた。
- 11) 各種進学雑誌へ本校の学校紹介等を掲載し、知名度の向上を図った。
- 12) SNS（Instagram、X、フェイスブック）を活用し、日常の在校生の様子や学校の今を情報発信して、ホームページへのアクセス増を図り、オープンキャンパス等、学生募集活動に活用した。
- 13) 来校者に向け、ショールーム、横断幕、掲示板を活用し、学園情報を発信した。
- 14) 自動車教習所（14校）、周辺の自動車関連企業等（7箇所）にオープンキャンパスPRポスターの掲示を依頼し、学園情報の周知を図った。
- 15) 君津青葉高等学校に講師を派遣し、整備体験授業を実施することにより高等学校との連携を図った。
- 16) 通信制高等学校（成美学園かずさ校、館山校）のスクーリング会場として当校施設を貸出し高等学校との連携を図った。
- 17) ホームページを適時更新し、SNSと連動した学生募集の充実を図った。

掲載新聞

■日刊自動車新聞■

- ・ 4月19日 道具に感謝 供養塔を建立（成田校・袖ヶ浦校）
- ・ 7月18日 斬新な作品を披露（成田校・袖ヶ浦校）
- ・ 10月17日 ～秋季 自動車整備士教育特集～（自動車車体整備科 学生 桐石 協）
- ・ 12月10日 NATS 袖ヶ浦校へエンジンを寄贈 ダイハツ千葉販売株式会社
- ・ 12月17日 NATS 袖ヶ浦校に教材車両2台を寄贈 千葉県ホンダ会
- ・ 2月18日 全実習場にエアコン完備（成田校・袖ヶ浦校）

TV 放映

■BS 日テレ■

・ 10月12日 #466 荒川 健 氏(自動車車体整備科レストア車両 マツダ ルーチェ 紹介)

令和6年度

財務計算に関する書類

財 産 目 録

事業活動収支計算書

貸 借 対 照 表

監 査 報 告 書

学校法人日栄学園

財 産 目 録

(学校法人 日栄学園)

令和7年3月31日 現在

		日栄学園	
科 目	摘 要(総合)	金 額 (単位円)	
一 資産額			
(一)基本財産		3,389,080,097	
1)有形固定資産		3,000,801,278	
1. 土地	校用地 155筆 153,753.68㎡	1,495,273,407	
2. 建物	31棟 床面積 18,690.73㎡	1,108,062,711	
3. 建物付属設備	電気・空調・衛生・給排水設備等	185,834,639	
4. 構築物	正門・アスコース・看板・植樹・学生駐車場	70,285,101	
5. 教育用研究用機器備品	整備機器・デスクター・計測器等 1,626点	65,392,744	
6. 管理用機器備品	事務用及び管理用等什器備品 159点	14,953,032	
7. 車両	校用車 33輛 四輪教材車 221輛 二輪教材車 40輛 施設管理用重機等 11輛 計 305輛	60,999,644	
8.建設仮勘定		0	
2)特定資産		309,483,947	
1. 退職給与引当特定資産	千葉銀行・常陽銀行外	309,483,947	
3)その他の固定資産		78,794,872	
1. 電話加入権	NTT電話 15回線	1,054,522	
2. 施設利用権	水道設置料負担金・排水権	796,306	
3. 出資金	千葉県自動車整備商工組合 1件	75,000	
4. 保証金	セコム・看板設置地主	250,000	
5. 自動車リサイクル預託金	42輛分	811,220	
6. 保険積立金	後職員生命保険積立金	35,554,224	
7. ソフトウェア	サーバー構築	453,600	
8. 有価証券	PWM有価証券	0	
9. 成田袖ヶ浦貸借仮勘定	成田袖ヶ浦貸借仮勘定	39,800,000	
(二)運用財産		1,445,742,344	
1)流動資産		1,445,742,344	
1. 現金	現金手許有高	990,777	
2. 預金		1,410,333,628	
	当座預金 千葉興業銀行 外4口 3,799,204		
	普通預金 常陽銀行 外19口 595,497,504		
	定期預金 千葉銀行 外2口 620,000,000		
	積立定期 千葉銀行 外2口 191,036,920		
3. 未収入金	学費延納・分納者	34,386,905	
4. 仮払金	仮払金	0	
5. 前払費用	次年度経費前払費用	31,034	
(三)収益事業用財産		0	
資産額合計		4,834,822,441	

日栄学園		
科 目	摘 要(総合)	金 額 (単位円)
二 負債額		
1) 固定負債		401,857,822
1. 長期借入金		0
2. 学校債		0
3. 退職給与引当金		401,857,822
2) 流動負債		730,266,132
1. 短期借入金	返済期限が1年以内の長期借入金	0
2. 前受金	授業料等前受金	443,158,737
3. 未払金	教材用品等購入先等	12,028,607
4. 預り金	教科書・作業服等私物購入・課外行事費用預り金他	227,103,524
5. 仮受金	仮受金	47,975,264
負債額合計		1,132,123,954
三 純財産		
1) 基本金		6,271,728,581
1. 第1号基本金		6,271,728,581
2) 繰越収支差額		-2,569,030,094
1. 至年度繰越収支差額		-2,569,030,094
純資産額合計		3,702,698,487
負債額・正味財産合計		4,834,822,441

この財産目録は、原本の写しに相違ないことを証明いたします。

令和7年5月29日

学校法人 日栄学園

理事長 矢部 明

事業活動収支計算書

令和 6年 4月 1日から
令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	927,352,000	927,353,091	△ 1,091
	授業料	370,812,000	370,812,614	△ 614
	入学金	94,350,000	94,350,000	0
	実験実習料	262,223,000	262,223,398	△ 398
	施設設備資金	199,967,000	199,967,079	△ 79
	手数料	12,158,000	12,158,700	△ 700
	入学検定料	7,480,000	7,480,000	0
	試験料	2,738,000	2,738,000	0
	証明手数料	1,940,000	1,940,700	△ 700
	寄付金	14,457,000	14,457,679	△ 679
	教育活動、特別寄付金、現物寄付	14,457,000	14,457,679	△ 679
	補助金	30,755,300	30,755,300	0
	国庫補助金（緊急助成金）	0	0	0
	県経常費等補助金	11,540,000	11,540,000	0
	修学支援 授業料等減免補助金	19,215,300	19,215,300	0
	付随事業収入	15,784,000	15,784,179	△ 179
	補助活動収入	15,784,000	15,784,179	△ 179
	雑収入	24,159,000	24,160,027	△ 1,027
	施設設備利用料	12,138,000	12,138,900	△ 900
	雑収入	12,021,000	12,021,127	△ 127
教育活動収入計	1,024,665,300	1,024,668,976	△ 3,676	
事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
	人件費支出	510,034,000	510,032,431	1,569
	教員人件費	339,014,000	339,013,119	881
	職員人件費	143,159,000	143,158,796	204
	退職給与引当金繰入額	27,861,000	27,860,516	484
	退職金	0	0	0
	教育研究経費	102,926,000	102,920,608	5,392
	消耗品費	2,412,000	2,411,461	539
	印刷製本費	2,544,000	2,543,047	953
	用品（教材）費	54,949,000	54,948,609	391
	旅費交通費	3,865,000	3,864,924	76
	授業費	20,318,000	20,317,800	200
	教育研究委託費	2,061,000	2,060,009	991
	研究費	566,000	565,224	776
	修繕費	2,056,000	2,055,976	24
	教育指導費	11,833,000	11,832,477	523
	進路指導費	1,917,000	1,916,662	338
	学生福利厚生費	405,000	404,419	581
	学生活動補助費	0	0	0
	管理経費	312,855,000	312,844,859	10,141
消耗品費	2,592,000	2,591,266	734	
光熱水費	23,830,000	23,829,967	33	
旅費交通費	2,172,000	2,171,037	963	
車輛費	14,762,000	14,761,660	340	
福利厚生費	3,125,000	3,124,206	794	
通信費	5,456,000	5,455,233	767	
印刷製本費	3,456,000	3,455,922	78	
修繕費	5,398,000	5,397,980	20	

	損害保険料	12,218,000	12,217,188	812
	賃借料	4,841,000	4,840,793	207
	公租公課	2,491,000	2,490,380	620
	広報費	7,611,000	7,610,618	382
	学生募集費	41,038,000	41,037,188	812
	学生募集直接経費	9,619,000	9,618,332	668
	諸会費	2,837,000	2,836,775	225
	会議費	1,550,000	1,549,365	635
	交際費	3,775,000	3,774,948	52
	業務委託手数料	72,806,000	72,805,654	346
	補助活動事業	10,849,000	10,848,638	362
	図書費	668,000	667,633	367
	減価償却費	79,594,000	79,593,247	753
	雑費	2,167,000	2,166,829	171
	徴収不能額	12,755,000	12,754,661	339
	徴収不能引当金繰入額	2,418,000	2,417,775	225
	徴収不能額	10,337,000	10,336,886	114
	教育活動支出計	938,570,000	938,552,559	17,441
	教育活動収支差額	86,095,300	86,116,417	△ 21,117
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	科 目	予 算	決 算	差 異
	受取利息・配当金			
	その他の受取利息・配当金	1,134,000	1,134,727	△ 727
				0
	教育活動外収入計	1,134,000	1,134,727	△ 727
	事業活動支出の部			
	科 目	予 算	決 算	差 異
	借入金等利息	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	1,134,000	1,134,727	△ 727
	経常収支差額	87,229,300	87,251,144	△ 21,844
特別収支	事業活動収入の部	52,331,000	52,331,160	△ 160
	事業活動支出の部	32,762,000	32,761,468	532
	特別収支差額	19,569,000	19,569,692	△ 692
	基本金組入前当年度収支差額	106,798,300	106,820,836	△ 22,536
	基本金組入額合計	0	0	0
	当年度収支差額	106,798,300	106,820,836	△ 22,536
	前年度繰越収支差額	△ 2,681,365,607	△ 2,681,365,607	0
	基本金取崩額	5,859,497	5,859,497	0
	翌年度繰越収支差額	△ 2,568,707,810	△ 2,568,685,274	△ 22,536
(参考)	事業活動収入	1,078,130,300	1,078,134,863	△ 4,563
	事業活動支出	971,332,000	971,314,027	17,973

貸借対照表

令和7年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,389,080,097	3,454,244,993	△ 65,164,896
有形固定資産	3,000,801,278	3,007,287,023	△ 6,485,745
土地	1,495,273,407	1,495,273,407	0
建物	1,108,062,711	1,159,515,655	△ 51,452,944
建物付属設備	185,834,639	153,095,822	32,738,817
構築物	70,285,101	70,662,179	△ 377,078
教育研究用機器備品	65,392,744	60,093,486	5,299,258
管理用機器備品	14,953,032	16,581,474	△ 1,628,442
図書	0	0	0
車両	60,999,644	52,065,000	8,934,644
特定資産	309,483,947	315,602,475	△ 6,118,528
退職給与引当特定資産	309,483,947	315,602,475	△ 6,118,528
その他の固定資産	78,794,872	131,355,495	△ 52,560,623
電話加入権	1,054,522	1,054,522	0
施設利用権	796,306	796,306	0
出資金	75,000	75,000	0
保証金	250,000	1,250,000	△ 1,000,000
自動車リサイクル預託金	811,220	687,000	124,220
保険積立金	35,554,224	50,162,310	△ 14,608,086
ソフトウェア	453,600	453,600	0
有価証券	0	26,876,757	△ 26,876,757
成田袖ヶ浦貸借仮勘定	39,800,000	50,000,000	△ 10,200,000
流動資産	1,445,742,344	1,292,066,271	153,676,073
現金	990,777	1,469,989	△ 479,212
預金	1,410,333,628	1,253,694,734	156,638,894
未収入金	34,386,905	35,570,658	△ 1,183,753
仮払金	0	0	0
前払費用	31,034	1,330,890	△ 1,299,856
資産の部合計	4,834,822,441	4,746,311,264	88,511,177

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	401,857,822	407,001,661	△ 5,143,839
長期借入金	0	0	0
退職給与引当金	401,857,822	407,001,661	△ 5,143,839
流動負債	730,266,132	743,087,132	△ 12,821,000
短期借入金	0	0	0
授業料前受金	142,735,650	156,231,200	△ 13,495,550
入学金前受金	44,415,000	53,386,668	△ 8,971,668
実験実習料前受金	84,350,000	91,055,000	△ 6,705,000
施設設備資金前受金	69,305,000	76,600,000	△ 7,295,000
分割納入前受金	102,353,087	84,240,500	18,112,587
未払金	12,028,607	10,425,525	1,603,082
預り金	227,103,524	221,148,239	5,955,285
仮受金	47,975,264	50,000,000	△ 2,024,736
負債の部合計	1,132,123,954	1,150,088,793	△ 17,964,839
純資産の部			
科 目	年度末	前年度末	増 減
基本金	6,271,728,581	6,277,588,078	△ 5,859,497
第1号基本金	6,271,728,581	6,277,588,078	△ 5,859,497
繰越収支差額	△ 2,569,030,094	△ 2,681,365,607	112,335,513
翌年度繰越収支差額	△ 2,569,030,094	△ 2,681,365,607	112,335,513
純資産の部合計	3,702,698,487	3,596,222,471	106,476,016
負債及び純資産の部合計	4,834,822,441	4,746,311,264	88,511,177

(注 記)

1. 重要な会計方針

引当金の計上基準

①徴収不能引当金

・・・ 学納金（直近の納入期限のものを除く）にかかる期末未入金残高の半額が徴収不能金引当金残高となるよう繰入を行っ

②退職給与引当金

・・・ 退職金の支給に備えるため、期末要支給額414,931,847円を基にして（財）全国中小企業共済財団特定退職金累計額13,074,025円との繰入調整額を加減した学園独自の要支給額

2. 重要な会計方針の変更等

・・・ 該当事項なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

3,267,057,254円

4. 徴収不能引当金の合計額

21,655,025円

5. 担保に供されている資産の種類及び額
担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。
土 地 …… 該当事項なし。
建 物 …… 該当事項なし。
6. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入を行うこととなる金額
0円
7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資産を有していない場合のその旨と対策
…… 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。
8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項
…… 該当事項なし。

監査報告書

令和7年5月17日

学校法人 日栄学園

理事長 矢部 明 殿
理 事 会 御 中
評 議 委 員 会 御 中

学校法人 日栄学園

監事 小泉吉則 

監事 小倉久和 

私たちは、学校法人日栄学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表）を含め、学校法人の業務、財産並びに理事の業務執行状況に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは学校法人日栄学園の令和7年3月31日現在の財産目録及び計算書類を含め、学校法人の業務と財産の状況及び理事の業務執行状況について不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めました。

以 上